

中津川（盛岡市）でサケの産卵場調査を実施します

盛岡市内の市街地を流れる中津川では、10月にサケが遡上し、産卵しています。

岩手河川国道事務所では、河川利用が多い毘沙門橋付近について、利用の安全性確保の観点から河岸洗掘（※1）の対策を検討実施するため、サケの産卵・孵化状況を確認しながら、洗掘防止のための対策を実施する予定です。

このため、サケの専門家の方と、もりおか中津川の会の協力を得て、下記のとおりサケの産卵場調査を実施いたします。

（※1）河岸洗掘

河川敷と水面が接する部分ののり面を河岸と言います。

河岸洗掘とは、そののり面が流水の作用によって削り崩されることを言います。

中津川サケの産卵場調査

日 時：平成21年11月20日（金）13:30～

場 所：中津川（毘沙門橋付近）

調査内容：産卵場所の確認、産卵した卵の状況確認

その他：当日の見学は自由です。

※ 天候などによって、予定が変更される場合があります。

<発表記者会： 岩手県政記者クラブ>

【問い合わせ先】

国土交通省 東北地方整備局

岩手河川国道事務所

019-624-3198

工務第一課長 奥山 吉徳

岩手河川国道事務所盛岡出張所

019-636-1469

出張所長 細田 文一